

④障害学生支援室より

京都大学障害学生支援室より、「本部構内の交通安全について」、障害学生支援室に来室した学生やメール等で連絡をとった障害のある学生の方から、下記のような意見をいただきました。

【視覚障害のある方から】

・自分は大学院生ということもあり、限られた建物しか利用していない。入学時には、支援室で訓練をしてもらっているので、日常でそれほど困ることはないのが事実。ただし、学部生ともなると移動も多くなり、今の京大の交通状況では私はひとりで歩く自信がない。

・車は単純に少しでも減るほうが安心できるが、それ以上に、通行している車には徐行してもらおうように呼びかけてほしい。トラックなどの大型車両は、特に怖い。普通車もスピードを出しているのが怖い。スピードを出しにくいような改善はできないのか。

・点字ブロックを整備してほしいが、その前に歩道と車道分離を進めてほしい。安心して歩ける場所が明確であれば、訓練をして慣れればかなり動けるようになる。点字ブロックだけがあっても、今の状況では一人で動くことは困難。

・自転車の駐輪自体に、それほどストレスを感じたことは正直少ない。自転車の駐輪、車の駐車マナーが悪いことを前提に行動している。

改善してもらえるのであれば、とにかく、駐輪スペースを守ってもらえるように注意喚起してほしい。勿論、それには相応の駐輪スペースが必要になると思う。

・学内は勿論だが、近隣のバス停へのアクセス（点字ブロック等）も同様に考えてほしい。切れ目のあるバリアフリーは、実質的に使えない。百万遍交差点では、歩行者用の音のシグナルが早めの時間で消えてしまう。近隣の方への配慮もあると思うが、21時頃までは音を出してもらえると有り難い。

・夜の構内が暗い。特に、5限が終わる時間帯は歩行者も通行量も多いのに、冬場は暗すぎて怖い。可能な場合は、時間をずらして行動しているのが現状。

・建物にもよるが、時間外や休日のキーロック解除に、デジタル表示のボタンを押さなくてはならず、視覚障害者には使用できない。他の学生と同じように、研究室などの施設を利用することが困難である。早急に改善してほしい。

- ・ 正門付近、正門から吉田南構内への道路に危険が多く。現状では、一人で行動できない。
- ・ 食堂、購買等は視覚障害者の利用を想定しておらず、ひとりで利用することができない。

【車椅子を利用する学生の方より】

- ・ アスファルトがボコボコしている箇所は通りにくく、危険を感じる。平らにならしてほしい。
- ・ 本部構内と北部構内を結ぶ歩行者信号の時間が短くて怖い。
- ・ スロープ付近、歩道の駐輪を何とかしてほしい。特に食堂近辺と図書館周辺。
- ・ ルネの食堂が利用できない。これは、一番強くお願いしたい。
- ・ 正門付近、東一条通りの横断は本当に危険。タクシーの乗車や降車もバスターミナルのようにできないのか。
- ・ 休み時間はエレベーターがいっぱいになってしまう。みんな降りてくれるが、申し訳ない気持ちがある。
- ・ 吉田南4号館の大教室は車椅子で入れない。良くつかう教室だけに改善してほしい。4号館は入口も1箇所でもとても混む。車椅子では授業が始まるのを待つしかないときもある。
- ・ 支援室の周辺は障害のある学生が一番集まるので、バリアフリーを強化しておいてほしい。トイレも使いづらく、そもそも今ある建物では支援室まで行きにくく、使いにくい。あと、申し訳ないが、車椅子利用者にとっては部屋が狭い。
- ・ 限られた休み時間なので効率よく移動したいが、自転車などが多く危険なので、本部構内にも歩道を整備してほしい。あと、休み時間帯は、車の通行ができないようにできないか。15分のことなので、可能ならばそうしてくれたほうが良いのではないかと（自分のためだけでなく）。
- ・ 冬場は暗くなるのが早いので、もう少し明るくしてほしい。
- ・ 駐輪に関しては、スペースが広がることが前提にはなるが、スペースだけの問題ではないと思う。少しでも今の状況を良くしてもらえるのであれば有り難い。